

ごあいさつ



平素より、呉信用金庫に対し、格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
ここに第98期（2022年度）の業務の状況を取りまとめましたので、ご高覧いただき、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

2022年度を振り返りますと、ロシアによるウクライナへの侵攻をきっかけとした物価高などの懸念材料がありながらも、新型コロナウイルス感染症への対策と経済活動の両立を目指した全国旅行支援の実施などにより、民需を中心として緩やかながら持ち直しの兆しがみられました。当地域は、新たな都市づくりに向けて呉駅周辺地域総合開発計画が進むなど明るい材料はあるものの、地場有力企業の完全撤退を控えるなど、依然として厳しい状況にあります。

こうした中、中期経営計画「『100周年、そしてその先へ』～地域の課題解決への挑戦～」の2期目となる2022年度は、「地域金融機関としてお客さまや地域の難局へ伴走して立ち向かい、活力ある地域社会の実現」「自己の成長とともに達成感を一層味わうことができる職場の実現」「100周年、さらにその先も安定した金庫経営の実現」を目指して業務運営に取り組んでまいりました。

法人・個人事業者のお客さまには、伴走型支援の取組みを加速させるため、新営業推進体制を開始し、渉外担当者による手厚い訪問体制を構築するとともに、業務提携先との連携による経営課題の解決、成長支援、有料職業紹介業務などを通じた本業支援へ積極的に取組みました。その中でも、人材紹介支援業務においては、信用金庫業界初となる相談拠点「くれしんキャリアオフィス」を開設し、地元呉市で就職したい求職者と人材不足に悩む中小企業との人材マッチングを提案できる体制を整えました。

個人のお客さまには、新型コロナウイルス感染症への対策として重要性が高まっている非対面取引の機能拡充を目的として、Web完結融資商品のラインナップ増加を図るとともに、海岸支店・吉浦支店を新築建替え（移転）するなど、利便性向上に取り組んでまいりました。

その結果、2022年度の業績は、貸出金は10期連続で増加し4,560億円、預金積金は6期連続で増加し8,063億円となり、当期純利益を13億円計上することができました。

このほか、社会貢献として、地域の文化・芸術活動の振興などの活動を例年どおり行ったほか、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止を余儀なくされてきた、サッカー、バレーボールなど各種スポーツ大会を3年振りに開催しました。また、様々なイベントを通じて、地域の子どもの「好奇心」や「学ぶ喜び」を育み、健全な育成をサポートすることを目的とした会員制組織「くれしんキッズアカデミー」を創設しました。

これからも、お客さまや地域とのリレーションを大切にし、お客さまに寄り添った「伴走型」の営業活動を経営の中心に据えるとともに、様々な変革に挑戦し、2025年9月に迎える創立100周年、そしてその先の時代に向けて更なる地域社会の発展・繁栄に貢献できるよう役職員一丸となって取り組んでまいります。

引き続きご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

2023年7月

理事長

向井淳滋